

綿貫家住宅(主屋・塀・蔵)

[登録日]平成 30 年 2 月 28 日

石橋町 381 番地外

正面外観【主屋】



正面外観【蔵】



正面外観【塀】



海鼠壁、袖壁【主屋】



袖壁

なまこかべ
海鼠壁

小天井【主屋】



こてんじょう
小天井

◆建築年代:主屋…明治中～後期(改修年 昭和7年頃)
蔵…明治後期(改修年 昭和30年頃)

◆構造:主屋…木造2階建 塀…延長12.78m
蔵:土蔵造2階建

■概要

主屋は2階の階高がやや低く、屋根には棧瓦を使用し、棟に来待石を乗せています。2階部分の両脇には袖壁を構え、出桁や持ち送り梁、木返格子、平格子を使用し、南側平屋部分の軒裏が小天井となっているなど伝統的な町家の意匠が施されています。

塀は屋根に左棧瓦を使用し、主屋同様、棟に来待石を乗せています。

蔵は屋根に左棧瓦を使用し、内部には小屋組に太くて頑丈な登り梁が使われています。

地域の歴史的景観に寄与するとともに、町人のまちとして栄えた石橋町の歴史を語る良質な建物です。

位置図

